

(公財) 石橋由紀子記念基金 事業報告書

(R4 年 4 月 1 日～R5 年 3 月 31 日)

報告者	代表理事 石橋 由孝, 理事 小口 勝司, 理事 齋藤 康
報告日	令和 5 年 6 月 24 日評議員会

令和 4 年度事業では、以下の事業を行ったためここに業務執行状況を報告する。

1 事業全般

I. 公益事業

1. 寄付金の受入れ

2件・総額150,000円の寄付を受け入れ

2. 助成事業

2022年7月1日から2022年10月31日を公募期間として、腎臓病の予防・治療及び移植に関する高度専門学術研究等への助成支援として、下記項目合計で3件
1,500,000円を助成。

(1) 医療従事者の教育・研修・学会等への参加助成

該当なし

(2) 腎臓病の予防・治療及び移植に関する高度専門学術研究に必要な経費の助成

3件 1,500,000円 (一般研究助成)

(3) 諸行事の協賛費用・講師謝礼金・図書出版物購入費用などへの助成

該当なし

II. 収益事業

土地賃貸事業により、株式会社山武グリーンカントリー倶楽部から、10,000,000円の
土地賃貸料を受入れ

2 公益事業について

【当財団の目的とする事業内容】

- ①比較的普及が遅れている腎臓移植に関する技術開発・研究開発とその普及啓蒙を目的としたセミナー事業
- ②腎不全特に末期腎不全及び腎移植に関する高水準の技術的能力な担保を確保するため、医師、医療法人、看護師、技師その他医療に携わる関係者に対して、専門性の高い技術的能力な教育に費やした経費を助成する事業。
- ③同医療のフォロー体制を充実強化させることを目的とする普及啓蒙活動事業。

令和 4 年度内で実施できた事業内容

(1) 公益目的事業

①セミナー事業

コロナ禍における三密を避ける必要等もあり、本事業年度においてセミナー事業は行われなかった。今後、体制が整い次第セミナー事業を行いたいと考えている。

②助成事業

本事業年で活動した助成事業は下記の通りである。

イ、令和 4 年度助成事業選考結果

令和4年度内で実施出来た事業内容
1 公益目的事業
(1)セミナー事業
令和4年度内で実施できた事業内容
コロナ禍における三密を避ける必要などもあり、本事業年度内においてセミナー事業は行われなかった。
今後体制が整い次第セミナー事業を行いたいと考えている。
(2)助成事業
本事業年度で決定した助成事業は下記の3つである。

2022年度 公益財団法人石橋由紀子記念基金 助成選考総括表

整理番号	申請者	所属機関	役職	項目	申請内容	助成決定額
201	藤田 幸	島根大学 医学部医学科 発生生物学	教授	研究費	腎移植後慢性活動性抗体関連拒絶反応の組織における浸潤T細胞レパート分析によるリスク分類作成	
202	佐藤 優	九州大学大学院医学研究院 臨床・腫瘍外科	大学院生・医師	研究費	異種胎仔腎における間質細胞置換による移植可能な再生腎の免疫学的利点の検討	500,000
203	山本 毅士	大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学	特任助教	研究費	腎臓病バイオマーカーであるD-セリンによる生体腎移植ドナー残腎機能維持機構の検討	500,000
204	臼井 俊明	筑波大学医学医療系臨床医学域腎臓内科学	講師	研究費	生体におけるリン感知機構の解明	
205	齋藤 尚二	名古屋大学医学部附属病院・腎臓内科	病院講師	研究費	抗体型糸球体腎炎におけるキヌレン代謝酵素およびトリプトファン代謝物の役割解明	
206	山本 泉	東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科	講師	研究費	腎間質線維化における2型リンパ球の役割と治療応用への展開	
207	木口 崇彦	法政大学生命科学部 生体化学工学研究室	助教	研究費	PTHによる筋骨連関を介したサルコペニア進展機序の解明	500,000
208	川邊 万祐子	東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内	大学院生・医師	研究費	多量の蛋白尿を伴う保存期慢性腎臓病症例に対する腎臓リハビリテーションの忍容性	
209	石井 瑠美	東京女子医科大学 泌尿器科	助教	研究費	多発性嚢胞腎の嚢胞増大メカニズム解明と、治療介入	
210	中田 健	大分大学内分分泌代謝膠原病腎臓内科学講座	助教	研究費	機械学習による透析導入日予測と患者の治療同期づけへの臨床的アプローチ	
		計				1,500,000

ロ、助成事業の内容と収支

腎臓病の予防・治療及び移植に関する高度専門学術研究等への助成として。(ア)医療従事者の教育・研修・学会及び臨床研究遠隔学習プログラム等への参加助成。(イ)腎臓病の予防・治療及び移植に関する高度専門学術研究に必要な経費の助成。(ウ)諸行事の協賛費用・講師謝礼金・図書出版物購入費用等への助成。の3種類に分けられる。以下は、これら3種類の助成事業の実績を報告する。

ハ、内訳一覧

(イ) 医療従事者の教育・研修・学会及び臨床研究遠隔学習プログラム等への参加助成

採択 0 件 0 円

(ロ) 腎臓病の予防・治療及び移植に関する高度専門学術研究に必要な経費の助成

採択 3 件 500,000 円/件×3 件＝1,500,000 円

(ハ)諸行事の協賛費用・講師謝礼金・図書出版物購入費用等への助成

採択 0 件 0 円

③ 普及啓蒙活動事業

当財団では末期腎不全及び腎移植に関する医療のフォロー体制を充実強化させることを目的とする普及啓蒙活動事業を行うところ、本事業年度においては、各関連医療施設が、コロナ患者受け入れや、ワクチン接種などの業務に追われており専門家と打ち合わせる機会が取れなかった点ならびに、新型コロナウイルス感染症が本年7月以降増加したことを受け、普及啓蒙活動は行わなかった。

以上